

目指す企業像の実現へ向けて



涌井 洋治
取締役会長

木村 宏
代表取締役社長

—— 目指す企業像 ——

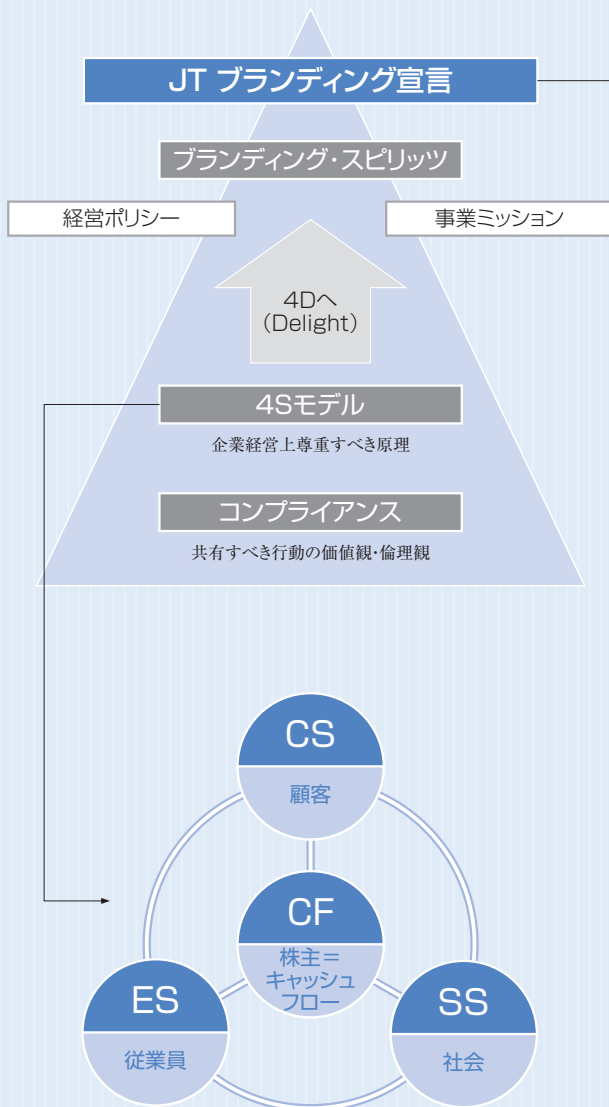
長期ビジョン	価値創造ビジネスを多角的に展開するグローバル成長企業へ	
	国内たばこ事業:	「利益創出の中核」として、母国市場である国内市場において、全ての面で競合他社を圧倒する
	海外たばこ事業:	収益性あるいは市場シェアにおいて、リーディングカンパニーとしての地位を継続しうる市場を数多く保有し、「利益成長の牽引役」としての役割を果たし続ける
	医薬事業:	柱事業として、強固な事業基盤をベースに安定黒字化を達成する
	食品事業:	総合食品メーカーとして、世界水準の競争優位性を確立する



中期経営計画 「JT2008」	今後想定される様々な環境変化を克服し、将来に亘る持続的成長を目指す	
	2008年度全社EBITDAは2005年度比+約200億円を目指す	
	国内たばこ事業:	販売数量減の影響を緩和し、2008年度においても「JT PLAN-V」期間中に達成した程度のEBITDA水準を目指す
	海外たばこ事業:	年率10%台半ばでの持続的なEBITDA成長により、JTグループの利益成長を牽引
	医薬事業:	開発品の着実なステージアップとR&Dパイプラインの充実
	食品事業:	柱事業として、2008年度連結売上高営業利益率3.5%以上を目指す
※中期経営計画「JT2008」は自律的成長を前提とし、大規模なM&Aを計画数値に織り込んでいません。		

—— JTグループの経営 ——

JTグループは、あらゆる活動を通じて、ステークホルダーの方々に「かけがえのないディライト(Delight)」=「期待を超える驚き、歓びといった、JTならではの付加価値」を提供することを「ブランディング(Brand・ing)」と定義し、それを実現することにより、社会において「かけがえのない存在」になりたいと考えています。



■ JTブランディング宣言 (2002年制定)

～すべてのステークホルダーに「かけがえのないディライト(Delight)」を約束・実現していくことを明確化したもの～

- 私たちは、顧客に信頼され、推奨されるユニークなブランドを育成する世界的ブランディング企業を目指します。
- 私たちは、ブランドこそが、ステークホルダーが抱く期待と信任から生まれる最大の経営資産であると考えます。
- 私たちは、優れたブランド価値を構築し、リフレッシュしていくために、経営資源と意志を投入します。
- 私たちは、ブランドには誇りを、その価値の構築には責任を持ちます。

4Sモデルとは、

高品質の事業活動によって生み出される資金を循環／拡大することを通じて、株主、顧客、従業員、社会の四者に対する責任をバランス良く高い水準で果たし、四者の満足度を高めていく、という企業経営の基本原則を示したものです。

- **CS** 顧客を深く理解し、魅力ある商品・サービスを通じて顧客に歓びを提供し続けます。
- **ES** 能力と意欲と責任を有する有能な人材に魅力的な「場」を提供します。
- **SS** 高次の倫理観に基づく事業活動を通じ、地球社会、地域社会で歓迎される良き企業市民となります。
- **CF** 経済性を、組織の共通基盤言語とします。環境変化に対する適応力を高める観点から、事業構造の変革に不断に取り組みます。